



月2回刊=1648号
2024年5月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

民間企業の賃上げ進む中 生活給にふさわしい賃金改善を

県地公闘・人事委員会あて要請書提出



▲諸課題について改善を求める地公闘交渉団



▲菅原人事委員会事務局長に要請書を提出する佐藤地公闘議長(左)

4月23日、岩手県地方公務員共闘会議(議長…佐藤工岩教組委員長)は、2024県人事委員会勧告に向け、人事委員長あて要請書を提出した。今年、人事院は「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」を具体化した勧告を行う見通しであり、キャリア官僚優遇の措置事項と引きかえに地方公務員の生涯賃金が更に抑制されることが懸念される。地公闘は、職員が生活と職務に精励できる職場環境、賃金・労働条件の改善に全力で取り組む。

佐藤地公闘議長あいさつ
月例給・一時金ともに2年連続で引上げとなっているが、物価高騰に追いついていない。連合の調査によると、2024春闘における賃上げ妥結状況は、全国で5・20%、本県で5・77%となっている。報道によると、2割程度の中小

「新採用職員へのメッセージ」

新採用職員の皆さん、心から歓迎します。皆さんと共に、岩手県民と岩手県に関わる人たちのために、働けること、大変うれしく思います。

今年は、岩手県内での桜の開花が、早すぎず遅すぎず、天候も悪くなく、週末が満開と重なったりもして、めったにない花見好適年になったと思います。桜が皆さんを祝福していたかのようです。

去年、盛岡市を「行くべきところ」に選んだニューヨーク・タイムズ紙は、今年、山口市を選びました。日本で行くべきところは地方である、という基本姿勢を見ることができ、日本の地方の価値や魅力に気づいているニューヨーク・タイムズ紙は、さすがです。日本の地方の中で、真っ先に選ばれた盛岡市を有する岩手県ですので、岩手県内の価値や魅力を大事にし、内に共有し、外に発信していきましょう。

大谷翔平選手の活躍で、「なぜ岩手から大谷サンのような人が?」と、よく問われます。岩手県内には、それだけの地域の力があり、その地域の力を育むにあたっては、公共に関わる仕事をしてきた先人、先輩の方々、大きな貢献をしてきたのだと思います。

新採用職員の皆さんには、ぜひ、先人、先輩の成果を継承し、さらに発展させていくことを、期待します。生活と仕事のバランスを、より良いものにしていくという面でも、過去の成果を基に、向上させましょう。心と体に気を付けて、お互いに幸福を守り育てるような、仕事ができますように。

共に、がんばりましょう!

令和6年4月1日



岩手県知事 達増拓也



▲内城人事課総括課長(右下)と交渉に臨む現業評議会交渉団

現業着任あいさつ

人事課・関係主管室課に 課題改善申し入れ

現業評議会は4月26日、内城人事課総括課長と着任の面会を行い、2024現業闘争をスタートした。菅原議長から「人員の完全補充と職場実態を踏まえた増員を要請したい。そのため、現業職員の働いている実態を人事課にも見てほしい」などあいさつした。

内城人事課総括課長からの主な回答は次のとおり。
①労使の基本姿勢
勤務条件は皆さんと十分協議し、可能な限り理解と協力を得ながら行ってきたい。今後同様の姿勢。現業職員の配置や処遇改善は皆さんの意見を踏まえつつ、主管部と意思疎通を

振興局ごとに大きく事情が異なるため、全県画一ではなく、個別具体的に配置を検討し決定していく必要があると認識。県土整備部で個別事情を踏まえ検討するが、人事課も一緒に考えていく。
同日、管財課、県土整備企画室、農林水産企画室にも面会し、課題改善を要請した。

出席役員からの訴え

・人材の流動性が高まっており、労働条件を他県と比べると競り負ける。改善を。人事委員会は公務で労働基準監督署に代わる権限を持つ。職場に入ってほしい。
④超勤把握・是正
超過勤務の実績を把握・検証し、人員配置・業務縮減等の実効力ある改善を。
⑤子育て支援
特別休暇改善、育児休業・部分休業拡充を。

⑥メンタルヘルス対策
若年層の長期療養者増加を踏まえ、健康管理体制・労働安全衛生体制拡充を。

図り、現場と協力しながら適切に対応。
②畜産研究所技能員の欠員補充
試験研究機関技能員は、継続的に新規採用を行ってきた。適正な採用試験で早く補充できるよう農林水産部と日程調整したものの(8月1日採用予定)であり、採用に向けた手続きをしつかり進めていきたい。

すべての働く仲間の生活向上を

第95回県中央メーデー



5月1日、第95回県中央メーデーが盛岡城跡公園で開催され、約750人が参加した。伊藤裕一実行委員長(連合岩手会長)は、「賃上げの流れをつなげるため、人への投資の継続を求めよう」「最低賃金の全国単独最下位から脱却しよう」などとあいさつした。集会終了後、内丸周辺を中心にデモ行進を行い、働く仲間の生活向上等をアピールした。

第五世代

今年も新採用職員の配属があった。不安と期待で一杯の新採用職員。自分のことを思い出すと振興局採用であり、残業が少ない所属であったため、余裕があり、そうした環境で働けたことは今になり成長するのに幸せだったと感じる。▼当時は復興の内札も多くあり、地域要件など特例が多く、件数こそ多かったが、特例があったからこそ件数をこなせたと感じる。それと同時にこの特例が終了した後、経験者としての元の職場に戻っても、かつての知識で働くことはできないと感じたことを思い出す▼人事異動では経験した部署に戻ることもある。これこそ人それぞれだが、属人的とも言われることもある県職員の仕事でも、ある程度の経験やスキルは本来の人事異動の意味や意義はどうあるべきなのかを考えさせられる。全員が希望する部署に配属されることは不可能であるが、少なくとも家族がいる場合など個々の生活環境に大きく影響する地域要件は満たされるかが求められる▼人事異動がある限り、この県職員という職業は比較的多くの出会いがある職業である。一期一会を大切に県民のために働いていきたいと思う。

組合員と家族の生活を守る

「じちろうセット共済」は助け合いの共済制度です！

ぜひ、この機会に保障の点検をしませんか??

手ごろな掛金

じちろう共済のスケールメリットを活かした、手ごろな掛金で利用できます。組合経由で加入するメリットを、ぜひ活用しましょう。

掛金は自治労共済推進本部HPから試算できます。

ID パスワード

https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/jichiro/kyousai/dantaiseimei_login.html



年に一度のこくみん共済coop自治労共済推進本部若手県支部による団体生命共済の定期募集時期(契約10月発効)となりました。助け合いの制度趣旨をご理解いただき、この機会に組合員の御申込・保障の点検をお願いいたします。

じちろうセット共済は、①団体生命共済②長期共済・税制適格年金③子ども保障満期付タイプ④住まいる共済⑤交通災害共済で構成されています。

特に、組合員の80%以上が団体生命共済を利用すると、「非通常就業者」でも組合員本人に限り最低保障額の範囲で申込みことができます。「組織加入単組」の特典を受けることができますようになります。県職労の現在の加入率は、80%を若干下回っています。より多くの組合員の利用により、「組織加入単組」を実現しましょう。

詳細は、「じちろう共済パンフレット」をご覧ください。5月13日から30日にかけて各支部で開催される共済説明会へ参加いただくようお願いいたします。

注目!

団体生命共済に月額200円で個人賠償責任共済をセットできます!!

利用できるのは組合員とその家族だけ!

団体生命共済

「仲間同士の助け合い」を形にした「団体生命共済」。助け合いの輪が大きくなるほど保障の充実につながり、仲間を支えることができます。あなたも助け合いの輪に参加しませんか?

ポイント1 スケールメリットを活かした割安な掛金
多くの組合員の利用で、割安な掛金を実現しています。

ポイント2 組合員の声を反映したオールインワンの保障
生命・医療保障がセットになっているので、必要な保障をこれひとつでカバーできます。

ポイント3 退職後も同じ保障を継続できるからずっと安心
退職後も「じちろう退職者団体生命共済」として最長85歳まで継続できます。

例) F型+23コースの場合

死亡	入院	通院	手術	がん診断	先進医療
重症療育の場合も600万円	日帰り入院から保障3,000円	さまざまな通院に対応1,500円	154種類が対象12万円・3万円	がん治療をサポート60万円(上記がんの発症は6万円)	高額な先進医療にも対応1,000万円

組合員本人の月額掛金

性別	年齢(発効日時点)					
	~35歳	36歳~40歳	41歳~45歳	46歳~50歳	51歳~55歳	56歳~60歳
男性	1,978円	2,152円	2,482円	2,968円	3,676円	4,742円
女性	2,114円	2,448円	2,644円	2,852円	3,196円	3,648円

※2024年10月~2025年9月までの掛金です。制度改定により1年ごとに掛金が変動しており、2025年10月の更新時から本掛金となります。

「割り戻し金」も大きな魅力!
年度ごとに剰余が生じた場合は、「割り戻し金」として支払われます。
2023年度割り戻し金の利率の実績 約12.6%

保障内容の掛金をチェック!
ライフステージに合わせてより大きな保障も選択できます。
組合員本人と一緒に配偶者・子どもも利用できます。

月額200円のプラスで個人賠償責任共済をセットすることで日常生活で生じる損害賠償責任に備えられます!

今すぐはじめて! 退職後の年金のための積み立て 長期共済
月払1口3,000円~(最大50口まで)

積立年数	掛金累計額	積立金(解約返戻金)	返戻率
5年	180,000	180,700	100.4%
10年	360,000	372,000	103.3%
20年	720,000	789,100	109.6%
30年	1,080,000	1,256,700	116.4%
40年	1,440,000	1,781,000	123.7%

団体生命共済 住まいる共済

1契約で組合員の家族もカバー

個人賠償責任共済

他人の物を壊したり他人を負傷させてしまったときの損害賠償を保障
★団体生命共済または住まいる共済の火災共済に30口以上加入している場合に付帯できます

全国で進んでいる自転車保険(共済)の加入義務化・努力義務化にも個人賠償責任共済なら対応できます!

最高保障額 3億円

不明点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 自治労共済推進本部

遺族附加年金共済「あとおし」は、組合員に万が一のこと(死亡・高度障害)があった場合、公的給付の不足を補い、ご家族の皆さまの経済的・精神的サポートをさせていただきます。県職労独自の助け合いの制度です。

残されたご遺族の生活資金を確保するためにも、じちろう団体生命共済等の利用と併せた「あとおし」の加入で、組合員のご家族をサポートすることができます。家族の生活を守るため、ぜひ加入をお願いします。

【基本はC・D1/D・D1コース】

C・Dコースでそれぞれ年齢区分別に掛金・月額給付額が設定されています。また、C1・D1コースはボーナス給付もあります。子どもの出産等で保障額を増やしたい場合には、別コースへの移行ができます。さらに、若年層の方や子どもが大きくなったので保障額を減らしたい方向けにE/E1コースがあります。ご自身のライフステージに応じてご加入をご検討ください。

【35歳以下向けコース新設】

35歳以下の組合員を対象に、月額百数十円の低負担でご加入できる「本人Fコース」(150万円コース)が10月に新設されます。

【就業不能サポート】

組合員本人が、ケガや病気、精神疾患によって20日以上長期療養(就業不能状態)が続いた場合、職場に復帰するまでの間、毎月10万円を給付する、就業不能サポートが昨年度に新設されました。「あとおし」を利用している組合員専用の県職労独自の制度です。

35歳以下限定の「Fコース」を新設

死亡・高度障害の場合、一時金150万円を受け取ることができます。

【月払保険料】

※18歳~35歳の場合 男性:140円 女性:99円

就業不能サポート

病気やケガによる就業不能状態が20日を超えて継続した場合、給付金を受け取ることができます。

【月払保険料】(5万円コース)

※21歳~25歳の場合 男性:610円 女性:658円

21~25歳の掛金の例【Fコース、就業不能サポート(5万円)に加入】 男性:750円 女性:757円
※記載の年齢は保険年齢です。※記載の保険料は概算です。

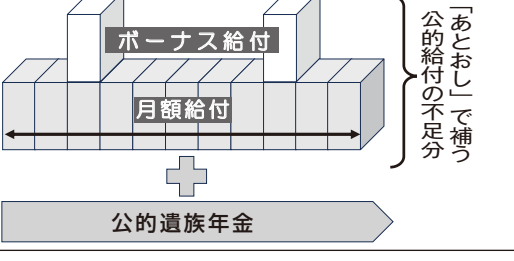
“もしも”の際のもう一つの備え

遺族附加年金共済

あとおし

県職労独自の共済を利用しましょう

○死亡・高度障害の場合、死亡・高度障害保険金を年金として受け取ることができます。
○一時金でのお受け取りも可能です。
○1年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお返しします。



制度の内容等の詳細については、パンフレットを参照してください。詳しくは、最寄りの組合書記局へご相談ください。